



教育目標 信念とともに 山の如く 優しさとともに 海の如く 勇気をもって たくましく生きる
重点目標 求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす生徒の育成

行為の意味

校長 小田 剛志

今日から2学期が始まりました。2学期は体育祭、文化祭（合唱祭）といった大きな学校行事があります。学校行事を通してクラスの絆、一緒に活動した生徒との絆を深めてほしいと思います。昨年度の体育祭で、どちらのチームが勝ったのかはよく覚えていませんが、体育祭の最後に、両チームともに団長が、自分のチームの生徒たちに「みんなありがとう。」相手チームに対しても「自分たちが頑張れたのは相手チームのおかげです。ありがとう。」と感謝の言葉を述べていたのは覚えています。勝ち負けを超えたところに価値を見いだした素晴らしい体育祭だと感じました。一方、体育祭の応援にせよ、パネルにせよ、文化祭の合唱にせよ、一生懸命取り組もうと熱を帯びてくると、人間関係でトラブルが起こりやすくなります。例えば、「何であの人は一生懸命やらないんだ。ムカつく。」「私は一生懸命やっているのにどうして悪く言うんだ。ムカつく。」のように。優しさや相手をリスペクトする気持ちをもっている人同士でもぶつかってしまうことがあります。しかし、お互いに、もっている優しさや相手へのリスペクトを行動に表すことができれば衝突は起こらないのではないのでしょうか。

東日本大震災が起こった2011年。震災直後、テレビでは流すCMがなくなってしまう、ACジャパンがずっと流れていました。その1つを皆さんに見てもらいます。

～ACジャパンのCM動画を視聴～

今、見てもらったACジャパンで取り扱われていたのは宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の一部です。

最後に、皆さんに宮澤章二さんの「行為の意味」を紹介します。



行為の意味

宮澤 章二

あなたの＜こころ＞はどんな形ですか？ と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも＜こころ＞は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに＜こころ＞はだれにも見えない けれど＜こころづかい＞は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから 同じように胸の中の＜思い＞は見えない
けれど＜思いやり＞はだれにでも見える それも人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき
＜心＞も＜思い＞も 初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ

（8月29日 2学期始業式より）

全国学力・学習状況調査（3年生）の結果について

4月に全国の公立中学校の3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をい知らせいたします。調査の目的は以下の通りです。

＜調査の目的＞ ～文部科学省より～

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

1 学力調査の結果から

数値は平均正答率(%)	国 語	数 学
山北中	60	61
新潟県（公立）	54	46
全 国（公立）	54.3	48.3

理科（IRTバンド）		数値は5段階の割合			
IRT スコア	5	4	3	2	1
474	0	7.7	61.5	30.8	0
498	5.5	18.2	43.5	28.8	3.9
503	6.2	20.2	42.0	27.3	4.2

○山北中学校は国語、数学ともに全国平均、県平均を上回りました。国語の「思考力、判断力、表現力等」の項目で「読むこと」が全国平均、県平均を下回りました。

○理科は全国平均、県平均を下回る結果でした。5段階分布で、4・5の上位層が少なく、3に集中していることもわかりました。その要因として、分量のある問題文をよく読まずに設問にいき、正答に結びつけることができない生徒が多かったと推測されます。問題文を丁寧に読み進めれば、正答に結びつけることができたのではないかと考えます。

2 生徒質問の結果から

(1) 授業におけるICTの活用について

授業における使用頻度に関する質問では、全国や県に比べて高いことがわかりました。また、ICT機器を用いて、文章を作成したり、情報を収集したり、プレゼンテーション（発表のスライド）を作成したりする技術力も高い結果となっています。生徒に確かな学力を身に付けさせることを目指して、授業でクロームブックを効果的に活用する方法に関する校内研修会を全教職員で行ったことが要因の1つであると考えます。

(2) 学びの主体性について

課題解決のために自分で考え、自分から取り組んだり、自分の考えをよりよく伝えるために工夫をしたりする学びの主体性が全国や県と比べて低いことがわかりました。授業における学習課題の提示が教師主導で行われる傾向にあったことが主な要因であると考えます。

3 確かな学力の育成に向けた今後の手立て

(1) 「読むこと」の力を高める手立て

○各教科の授業において、提示された問題や説明、資料等を丁寧に読ませる指導を行うとともに、授業の振り返りの場面で「読むこと」に関する項目を設け、生徒にきちんと読み取ることの大切さを意識させます。

○毎朝行っている朝読書の時間をより一層充実させるために、教室環境の改善や生徒会活動による取組を実施します。

(2) 学びの主体性をもたせる手立て

○授業で、生徒が「知りたい」「できるようになりたい」と思えるように、学習課題の提示を工夫します。また、生徒が創意工夫のある学習活動を行うように個別指導に力を入れます。

(3) 今後も継続する手立て

○一人一台端末の実効性を高める等、確かな学力を育成するための授業改善に、学校全体で組織的に努めます。（全教職員で行う研修、チーム別研修、授業者による個別の教材研究）

○プランニングタイムを活用して、生徒が効果的な家庭学習に取り組むように個別指導を行います。また、日頃から各教科でデジタル教材（ドリルパーク）、ワークブック、ワークシート等を用いて基礎学力の定着を図るための宿題を課します。

1学期の学校評価について

【生徒アンケート】

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない 数値：%

知育分野				A	B	C	D
	授業では「学ぶ楽しさ」や「わかる・できる喜び」を実感しましたか。			51	38	10	1
	I C T機器を活用し、学習内容の理解を深めることができましたか。			48	48	2	2
	授業で課題に対して主体的に取り組んでいる。			45	43	12	0
	授業の振り返りで、自己の変容や学びの価値を自覚できている。			35	57	4	4
	毎日のプランニングを通して、学習とメディアのバランスがとれた生活ができるようになった。			24	35	33	8
		120分以上	90～120	90～60	60～30	30分未満	
	平日の家庭学習の時間	4	17	38	29	12	
	休日の家庭学習の時間	12	23	20	31	14	

- 「毎日のプランニングを通して、学習とメディアのバランスがとれた生活ができるようになった」において肯定的評価が59ポイントと低い結果でした。プランニングの時間における教職員の見取りや支援に甘さがあったと考えます。2学期早々に全校集会を開催し、プランニングの意義を伝えるとともに、日頃からきめ細かく見取り、個に応じた指導に努めます。
- 授業でわかったことやできるようになったことが定着し、学力テスト等の結果に反映されるように、各教科において日頃から宿題を課します。また、生徒が主体的に学力を高めようとする意識の醸成を図るために、各学年委員会を中心に学力向上のための活動に取り組ませます。

徳育分野				A	B	C	D
	委員会・部活動・行事・学級活動などで、人の役に立つ経験をした。			47	39	6	8
	誰に対しても挨拶がしっかりできている。			55	37	6	2
	道徳の授業では、話し合った内容を、自分のこととして考えることができた。			63	35	2	0
	自分にはよいところがある。			33	45	18	4
	将来の夢や目標（高校の進路など）をもっている。			37	43	8	12
	学校生活は楽しい。			73	25	2	0
	いじめや人間関係のトラブルに、教職員がすぐに相談に乗ってくれたり、相談しやすい雰囲気である。			44	39	13	4
	誰とでも良好な人間関係ができている。			40	52	8	0
	思いやりをもった行動を心がけている。			53	43	2	2

- 「委員会活動・部活動・行事・学級活動などで、人の役に立つ経験をした」における肯定的評価が86ポイントという結果でした。日々の清掃や全校課題解決活動などの学校行事において、異学年による小集団（縦割り班）で構成されていたことが自己有用感の高まりに効果的だったと考えます。今年度は、小中連携海岸クリーン作戦が熊の目撃情報のため、中止となりましたが、後日、生徒会が中心となって生徒自らが企画し、学校周辺のゴミ拾い活動を行いました。今後も、生徒が主体的に人の役に立つ活動を行うように働きかけて、事後に機を逃さず賞賛していきます。
- 「いじめや人間関係のトラブルに、教職員がすぐに相談に乗ってくれたり、相談しやすい雰囲気である」において「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した生徒の割合が21ポイントと高いことが分かりました。今後、担任に限らず、全教職員で注意深く見取り、積極的に声がけを行います。また、生徒へも「相談しやすい教職員に相談すること」を働きかけるとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していきます。

体育 の 分 野	全校ランに積極的に取り組んでいる。			A	B	C	D
		毎日食べる	ほぼ毎日食べる	時々食べる	あまり食べない	食べない	
	朝食を毎日食べている。	72	16	6	0	6	
			1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	
	平日のメディア視聴時間はどれくらいか。		2	33	39	26	
			8時間以上	7～8時間	6～7時間	6時間未満	
	睡眠時間はどのくらいか。		22	43	29	6	

○メディアの視聴時間が長いことが課題です。制限無くメディアを視聴すると、家庭学習、睡眠時間、毎日朝食をとることなどに悪影響を及ぼす可能性もあります。学校では、今後も、自制心をもって生活し、メディアの視聴時間を2時間以内にするように粘り強く働きかけていきます。

【保護者アンケート】

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない 数値：%

	A	B	C	D
お子さんは授業が「分かる」と言っている。	16	66	16	2
お子さんは意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	22	27	36	15
お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている。	20	29	33	18
お子さんは学校生活に達成感や成就感を感じている。	40	45	13	2
お子さんは挨拶がしっかりできている。	31	44	18	7
お子さんは学校が楽しいと言っている。	53	40	2	5
お子さんは体力向上に向けて、全校ランや部活動など運動に努めている。	62	22	14	2
お子さんはメディアコントロールウィークなどの取組を通して、生活習慣の改善に努めている。	2	38	36	24
お子さんのスマートフォン、SNS（ゲームを含む）等の使用について、家庭でのルールがある。	16	35	38	11
お子さんは朝食を毎日食べている。	73	13	7	7
お子さんは睡眠時間を十分にとっている。	30	45	20	5
お子さんは誰とでも良好な人間関係を築いている。	38	44	18	0
お子さんは思いやりのある言動ができている。	42	40	16	2
山北中学校は生徒の様子をたより等で伝えている。	56	40	4	0
山北中学校は保護者に誠意をもって対応している。	51	45	4	0

○生徒アンケートでも、家庭での「学習とメディアのバランスがとれた生活」が課題であることがわかります。保護者の皆様には、親子で話し合って「家庭でのゲームやSNSの使用に関する家でのルール（使用時間、使用場所、守れなかったときにどうするか等）を決めていただき、日頃の見守りをお願いいたします。困り事や個別の相談等がございましたら、お気軽に学校にご連絡ください。

日頃より、山北中学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。上記のように、今後、知育、徳育、体育ともにアンケート等を参考に改善に努めて参ります。生徒の健やかな成長のために、今後も学校と家庭との連携を大切にして参ります。何卒、よろしくお願いいたします。

～今後の予定～

9月1日（月） 2年身体測定	9月8日（月） 新入生体験入学
2日（火） 3年身体測定 2年職場体験～9/4	10日（水） 学校預かり金引き落とし日
3日（水） 1年身体測定	20日（土） 創立30周年記念体育祭
5日（金） メディアコントロールウィーク～9/11	22日（月） 体育祭の振替休業日
6日（土） P T A グランド除草作業 7:00～	24日（水） 平井李枝先生来校全校合唱指導